

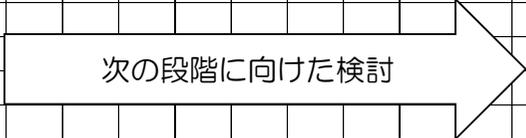
保険料水準の統一に向けた検討の進め方（全体のスケジュール）

国保運営方針：○令和6年度から統一に向けた市町村納付金の算定方法を段階的に導入していくことを目指す。
 ○統一に向けた手順・工程表について、令和5年度までの合意形成を目指す。

検 討 事 項	令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度				令和7年度				令和8年度			
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期																				
●統一に向けた基本的事項																								
・統一完了時期の検討（基本的な考え方・方向性）																								
・医療費水準の格差反映（格差解消の考え方、 α の取扱・終期についての検討）																								
・統一手順の検討（段階的な統一の検討）																								
・収納率の格差反映（収納率格差の取扱）																								
・保健事業、給付事業の取扱（保健事業費計上の考え方、独自事業の取扱）																								
・市町村公費（保険者努力支援等）の取扱（納付金算定上の取扱い）																								
・工程表の作成																								
●医療費水準の格差反映																								
・医療費の要因分析、効果的な取組の検討																								
・医療費適正化の取組（市町村の取組）																								
・医療費水準平準化、格差解消の取組																								
・ α の逓減方法の検討																								
・医療費水準 α の変更に伴う激変緩和措置・インセンティブ等の検討																								
・取組の評価																								
●収納率の格差反映（R9以降の導入を想定）																								
・収納率の格差解消の検討																								
・収納率の格差解消の取組																								
・取組の評価																								
・収納率の格差反映の検討																								
・収納率の格差反映に伴う激変緩和措置、収納率の向上インセンティブ等の検討																								
●保健事業・各種給付事業の統一化（R9以降の導入を想定）																								
・保健事業費の平準化、納付金算定方法の検討																								
・各種給付事業の標準化・統一化、納付金算定方法の検討																								
・保険料水準統一のためのインセンティブ等の検討（保健事業等）																								



新たな算定方法の導入【第1段階】



次の段階に向けた検討